



# 地球



2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業  
共に生きるフォーラムふじさわ2013

## どんな良いことがあるの? 男女共同参画が実現すると...

男女格差指数135カ国中101位の日本～世界とのギャップは何か?!

もくじ

- 男女格差って?
- 講演を聴いて
- 『女の子の幸福論—もっと輝く、明日からの生き方—』を読んで
- 「子育て応援メッセ in ふじさわ」見学記
- 編集後記
- インフォメーション

# どんな良いことがあるの? 男女共同参画が実現すると...

**男女格差指数135カ国中101位の日本～世界とのギャップは何か?!**

2013年11月16日、2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業「共に生きるフォーラムふじさわ2013」講演会が、藤沢市役所で開催されました。講師は、大崎麻子さん。

国連開発計画在職時のお話やジェンダー問題についてなど、グローバルな視点から語っていただきました。

※2013年10月25日に2013年の日本の男女格差指数(ジェンダーギャップ指数)は136カ国中105位と発表されました。(上位の国ほど格差が小さい)



## 男女格差って?

1位アイスランド、2位フィンランド、3位ノルウェー、4位スウェーデン・・・105位日本。これは何のランキングでしょうか? ウィンタースポーツ競技の順位? いえ、ちがいます。

これは、スイスの非営利財団・世界経済フォーラムが、経済(管理職の割合など)・教育(高等教育の在学率など)・保健(健康寿命など)・政治(閣僚の比率など)の4分野のデータをもとに、世界各国の男女格差を数値化した順位です(2013年)。

日本の順位の低さに正直驚いてしまいましたが、一方で上位にランキングされている北欧諸国はなぜ男女格差が小さいのかを探るべく、スウェーデン在住の知人に聞いてみました。

彼女によると、スウェーデンでは「女性が仕事と子育てを両立する」というより「男性も女性も同等に仕事も子育ても両立する」という考えのようです。

育児休暇(育休)は、子どもが8歳になるまでに両親で計480日取得でき、かつ父母それぞれ最低60日取らないといけない制度だそうです。取得できる期間が長く、父母どちらがいつ取得するか、家庭ごとに選択できるのは、いいなあと思いました。

また彼女の話で興味深かったのは、スウェーデンでは「仕事=%(パーセント:割合)で雇用される」ということ。

おおさき あさこ  
講師：大崎 麻子氏



県立鎌倉高校、上智大学卒業。コロンビア大学大学院在学中に長男を出産。国連開発計画(UNDP)ニューヨーク本部に就職し、途上国の女性のエンパワーメントを担当。現在はフリーの開発・ジェンダー専門家として、国際協力や東日本大震災の復興支援に従事している。サンデーモーニング(TBS系)のコメンテーターとしても活躍中。関西学院大学客員教授、聖心女子大学非常勤講師、プラン・ジャパン理事、Gender Action Platform アドボカシー担当。

「雇用100% = 100%の月給」をもとにすべて割合で計算されるので、例えば、子どもとの時間を取りたいと思えば50%の勤務時間で50%の月給など、育休を利用し、パートナー間で話し合って決められるそうです。知人も大学院在学中に出産したので、1年間夫が育休を取り無事に大学院に通うことができました。

これだけ雇用制度が整っているのは、「仕事を持つ→収入を得る→税金を納める→福祉を受けられる」というサイクルがあるからで、税金も高く、いわゆる共稼ぎをしないと生活できない現実があるようです。

すべてを割合にすることはできないけれども、例えば父がこの時期は育児を、母がこの時期は仕事と、バランスはパートナーごとに異なり、決められることは魅力的に思えました。(佐野 記)

男女格差指数(ジェンダーギャップ指数)2013年  
主な国の順位

(値 0=完全不平等～1=完全平等)

順位	国名	値
1	アイスランド	0.8731
2	フィンランド	0.8421
3	ノルウェー	0.8417
4	スウェーデン	0.8129
5	フィリピン	0.7832
6	アイスランド	0.7823
7	ニュージーランド	0.7799
8	デンマーク	0.7779
9	スイス	0.7736
10	ニカラグア	0.7715
11	ベルギー	0.7684
13	オランダ	0.7608
14	ドイツ	0.7583
18	英国	0.7440
20	カナダ	0.7425
23	米国	0.7392
45	フランス	0.7089
61	ロシア	0.6983
69	中国	0.6908
71	イタリア	0.6885
105	日本	0.6498
136	イエメン	0.5128



## 講演を聴いて①

「男女格差指数」で日本は、前回調査より順位を下げています。それは、日本以上に努力した国が多かったという結果であると、大崎氏は言う。

男女が平等に生きていくにはどうしたらよいか。労働や家庭での生活、家事労働というようなことをどのように捉えるかということが問題になってくる。かつて、男性は「一家の大黒柱」であり、男性が外で働き、稼いできた収入だけで一家の家計は成り立っていた。その後、低賃金化が進んだことにより、男性が働いた収入だけでは、一家の家計は、成り立たなくなった。そこで、女性も外へ出て、働かざるを得なくなった。しかし、女性が社会進出するには、その環境整備が十分でなく遅れていることから、さまざまな問題が発生しているのではなかろうか。

大崎氏は「男女平等は、文化の問題ではなく、政策転換の問題である」ということを強調していた。男女平等を実現するには、女性が社会進出しやすいようにすることが重要である。それには、幅広く、いろいろな問題が関係してくると思う。

男女平等を実現するには、まず、女性の大学生を増やすことである。学歴が問題なのではないが、ひとつの目安にはなる。大学で学び、能力を高め、技術を身につけさせることは必要である。日本では、大学生は男性の方が多く、男女が同じとは言えない。男女平等には、大学生の数を男女同じようにすることから始めなければならないだろう。

次に、女性が結婚や出産を機に退職するというのを止めることが重要である。結婚、出産しても、働き続けることができるような社会を実現することが重要である。そのためには、さまざまな分野での女性支援策が必要になってくる。女性が子どもを預けて働こうとしても、子どもを預かってくれる保育所がない、学童保育がないということでは問題である。さまざまな子育て支

援策とも関係してくるのである。また、男性にも育児休暇を取得させやすくするというのも重要である。さまざまな施策によって、社会全体として、子育てを支援することが、やがて、男女平等へと繋がっていくのである。

女性が、働く環境の中でも、男女平等という考え方を実現することも重要である。働く女性はいても、パートや派



遣社員ばかりというのでは、問題である。能力ある女性の社員を増やすことである。能力ある女性の社員を増やすことは、女性の管理職を増やすことにつながると思う。

大崎氏は、講演の中で、ノルウェーでは、取締役を4割以上女性にしないと、上場させないと言っていた。これなども、日本でも、株式を上場する規模の会社を対象にして、取締役の何割かを女性にするということは実現可能であると思う。

こうしたことをひとつひとつ実行していけば、意思決定ポジションに占める女性の割合はだんだん高くなっていくであろう。こういう方向で「男女格差指数」の「経済」の問題は解決されていくと思う。

もう一つは「政治」の問題である。国会議員に占める女性の割合が少ないことについては、まず、女性が候補者になりにくいということがある。これが問題である。

政党が公認する女性候補者が少なければ、当然、当選して国会議員になる女性の数は少なくなる。そこで「議席の一定数を女性に割り当てる」ことが考えられる。比例代表の場合、政党が作る候補者名簿を男女交互にする。これを全部の政党が行えば、これだけで、比例代表の国会議員の半分が女性になる、と大崎氏は言った。女性の国会議員が少ないという問題は大幅に改善されることになる。女性議員が増えれば、女性閣僚も増えていくだろう。それにはまず、女性候補者を増やすことである。このことが、とても重要ではないかと思う。

地方議会についても、制度を改める必要がある。議員の数を男女平等に近づけるためには、議員の報酬が高すぎることを改めることがポイントである。議員一人当たりにかかる金額は、庶民的な感覚からすると、高給優遇されていると言える。先進国の中で、日本は人口当たりの議員の数が多いと問題になっているわけではないので、議員の数を減らすことは、民主主義という制度上問題があり、できない。そこで、費用を低くする。議員は、ボランティアとして捉え、かかった実費程度を支給するようにする。このようにすれば、大幅に女性の比率が高まり、男女平等社会に近づくのではないかと考えている。どうだろうか。

このような方向で進んでいくな「男女格差指数」として、日本が低いとして問題になっていることは、あらかた解決されるのではないかと思う。

(大山 記)







## 講演を聴いて②

国連で開発途上国の女性支援をしてきた大崎氏。退職して先進国であるはずの日本に帰国して驚愕したことのいくつかの問題のひとつに男性の生きづらさを挙げ、「男もつらいよ」という言葉で表現していた。他の国に比べて日本は、「男性はこうあるべき」「男性の果たす役割」といったジェンダー規範がキツイところがあるという。

確かに、「男のくせに弱音を吐くな」とか、「男なんだから泣くな」という言葉を女性の私でさえたびたび耳にしてきた。男性はあらゆる面で「強くあれ」と、どれだけ言われ続けてきただろう。そのうえ、男性は結婚して妻子を養う「大黒柱」として、経済力もなくてはいけないという意識が世間一般にはまだ根強くある。

続けて大崎氏は、「非正規雇用者がなかなか結婚できないこと」「就活に失敗し、正社員になれなかったことに絶望して自殺してしまったケース」「就職に有利な大学や学部に入れ、稼ぎのいい仕事につけるために必死な親も少なくないという現状」などを報告した。

また、配偶者からの暴力の相談件数、ストーカーに関する認知件数の増加を例に挙げ、それらの背後には経済的な問題が潜んでいること、自殺者数が女性より圧倒的に男性が多く、その原因・動機は経済・生活の理由によるものという

データを挙げ、いかに経済的な負担が男性を追い詰めているのかを示した。そうした具体的な数字から、背景には「男もつらいよ」があるんだなああと改めて気づかされた。

女性のエンパワーメントは女性の地位向上や社会進出だけでなく、男性のつらさをも救う。大崎氏は、「持続的な社会・経済のために、男も女もひとりひとりの人生を自分らしく生き、自分の能力を伸ばして活かす。男女が平等にあらゆる責任を果たし、助け合って生きることだ」と講演を締めくくった。

最近の女性の結婚の条件は、三高から三平(平均的収入、平凡な外見、平穏な性格)に変わったとテレビで見た。本当だろうか？ あるデータによると、平成23年度の20代後半の平均年収は367万円。だが、女子の本音は、「結婚相手に求める年収は600万円」。メディアではスポーツ選手や芸能人の妻の内助の功がさかんにたたえられているし、事実、専業主婦願望の若い女性も増えてきているそうだ。

マズイ。現実離れたイマドキ女子を育てたのは、まぎれもなくバブル前後を体験しているはずの私たち中高年世代である。私もお年頃(?)の娘二人の未来が気になるのが正直なところ。このままではますます若い世代の未婚化はすすみ、家庭を持ったとしても破綻してしまう恐れがある。今からでも遅くはない。自分のできることを見つけ、もっと行動していかなければ…。猛省しながら会場を後にした。

(有田 記)

## 『女の子の幸福論—もっと輝く、明日からの生き方—』を読んで

著者 大崎麻子さんは、国連のジェンダー部門で色々なプロジェクトを運営されてきた。そんな視点から日本の女性の地位の低さを本の中で指摘する。

また、主体的に生きることの大切さを説いている。その上で、幸せになるための、パートナーと対等になるための条件をあげ、緒方貞子さんの言葉を引用して、女性のキャリアの築き方について、小学校、中学校、高校、大学と年齢で横並びに学んでいく方法ではなく、その人その人の成長に合わせた、また、子育てなどの後でもキャリアを構築できるように長期的な視野に立つことが大切と述べている。

今の日本に物事をとことん突き詰めていこうという風潮はない。大多数が、空気を読んでなんとなく流れに乗って生きている。己を振り返っても自分の足でしっかり立って、自分の人生を歩いている感覚はない。自分の足できちんと立つということが、男女平等の基本。このままでは、いつまでたっても男女が本当に同じ土俵には立てないだろう。どうすればいいのかということの本は、クリティカルシンキ



『女の子の幸福論  
もっと輝く、明日からの生き方』  
著者：大崎麻子  
講談社

ング(※)というやり方で自分に向き合う方法を分かりやすく説明している。

さすがに世界経済フォーラムが発表したジェンダー平等ランキングで、日本の順位が、参加136ヶ国中、105位と聞くと愕然とする。日本の中で暮らしているとその状況はピンと来ない。この感覚的にピンと来ないという状況こそが、この現状を招いたのだ。この本を読んで、今更ながら目が覚める思いがした。

(川辺 記)

※批判的に考えることにより正確に、論理的、合理的、公平に分析し総合判断すること

# 子育て応援メッセ

## in ふじさわ 見学記



晩秋の心地よい青空の広がるさわやかな一日、10月31日(木)、「子育て応援メッセ in ふじさわ」実行委員会並びに藤沢市主催の楽しいイベントに行ってきました。

開催場所は藤沢市民会館、沢山の赤ちゃんを連れてお母さんたちでいっぱいになりました。

「ひとりじゃないよ! つなげよう ひろげよう 子育ての“わ”( ^ 0 ^ )」を主題に、たくさんの子育て関連団体の出展するスペースや大型紙芝居、手あそび、リズム遊びエクササイズ、赤ちゃんマッサージなど、多彩な催しで一日がぎっしり埋まっていました。

毎年この季節に行われ、今年で11年目を数えます。

初めての子育てで、昔のように面倒をみてくれたり、相談できる親との同居は少なく、どのお母さん、お父さんも若いものだけの子育てに体当たりです。

会場ではたくさんのお母さん方が、それぞれの思いの場所で、それぞれの時間を過ごしました。

ブース会場は、所狭しと並ぶ応援団体や育児サービスの人たちが、赤ちゃんを抱いたお母さんたちの悩みを聞いて



くれていました。市のサービスの説明もあり、多くのお母さんたちが足を止めていました。ちょっと話に懸命になると、通り抜ける他の人たちの邪魔になりはしないかと心配になるほどの盛況ぶりでした。



どんなこともひとりで抱え込まずに、ま

ず市に、団体に、そして、仲間のお母さんどうし、近所の知り合いのお年寄りにでも、声を掛け合っていきたいものです。

大きな紙芝居の会場や、お母さんと赤ちゃんが一緒にできるリズム遊びでは、たくさんの笑い声があふれていました。

また、カフェ会場に

はいろいろなおもちゃが用意しており、美味しい飲み物や「かわせみサブレ」を手にとり親子やお母さんどうしの話がはずんでいました。おばあちゃん世代の筆者には、珍しいたくさんの新しいおもちゃに目が点の状態で、昔の積み木やままごと遊びが、ずっと遠くに感じられた気がします。

これだけのイベントを盛り上げてくれる、縁の下の力持ちもいます。

休む間もなく預かる乳母車。最新のものは畳むのにも悩めます。あれれ、助けにならないかなと四苦八苦。広い会場の案内に、外で2時間、3時間、立ちっぱなし。かわいい赤ちゃんをそっと抱いてお預かり。多くのボランティアの人たちが、活躍していました。

青少年指導員、民生委員・児童委員の方をはじめとする、141名の人たちです。

悩んで子育てを放棄してしまいそうになる人が、ひとりもいないように、助け合おうと始められたというこのイベントは、支える側も頼もしい仲間たちでした。

(甘粕 記)

- 初冬の頃、急にぱらぱらと降る短い雨。時雨。部屋の窓からもの哀しい降る雨の音を聞く。(甘粕)
- 年末大掃除。一年前よりも家族の協力を得られて思わずにっこり。今年は各自主体性をもって取組んでくれたらな…(川辺)
- 東京五輪が決まったが、前回の東京オリンピックから50年、もうそんなに時間が経過したのかと思います。(大山)
- 今年の目標が、まだ決まらない私。今年こそは?いつも心穏やかに子どもと接することを心がけたいです。(佐野)
- 師走に突然のギックリ腰。健康と周囲のありがたみが身に沁みる。筋力と心力をアップするのは…「今でしょ!」。(有田)



# インフォメーション

## 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が改正されました

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律が2014年1月3日に施行されました。

### (改正の内容)

配偶者暴力防止法の適用対象を拡大することとされ、生活の本拠を共にする交際相手からの暴力及びその被害者について、この法律の規定を準用することとされています。

#### 配偶者暴力防止の適用対象の拡大について

	改正前	改正後
法の適用対象	配偶者 (事実婚や元配偶者(※1)も含まれる)	配偶者 (事実婚や元配偶者(※1)も含まれる)
	適用対象の拡大(この法律を準用)→	生活の本拠を共にする交際相手(※2) (元生活の本拠を共にする交際相手(※3)も含まれる)

※1 離婚前に暴力を受け、離婚後も引き続き暴力を受ける場合  
 ※2 婚姻関係における共同生活に類する共同生活を営んでいないものを除く  
 ※3 生活の本拠を共にする交際関係を解消する前に暴力を受け、解消後も引き続き暴力を受ける場合

かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 川辺 裕子・佐野 美穂子・大山 賢一  
 甘粕 保子・有田 留美子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

FAX 0466-24-5928

E-mail [jinkendanjyo@city.fujisawa.kanagawa.jp](mailto:jinkendanjyo@city.fujisawa.kanagawa.jp)

## 「ドラッグ」は、意外とあなたの身近なところにあるということを知っていますか?

たとえば

- ・バイト先の先輩に勧められて…
- ・サークルの友人に誘われて…
- ・海外旅行・留学先で気がゆるんで…
- ・ネットの掲示板を見て…



そんな環境だからこそ、自分自身でドラッグとの出会いを避け、またもし出合ってしまったときにはうまく対処できるようにしておくことが大切です。

海外では、パーティーなどで席をはずしたすきに、飲み物の中に睡眠薬やドラッグを入れられてしまい、レイプに繋がる事件も発生しています。予防策として、一度目を離れたら必ず新しい飲み物や食べ物に変えることが常識になっています。

携帯やパソコンに送られてくるスパムメール(迷惑メール)の中には、違法な薬物を販売するサイトに呼び込むためのものが潜んでいます。



いつでもどこに誘われても、「自分にはドラッグは必要ない!」と強い意思を伝えて断ることが大切です。

お任せ下さい!  
**排水管の清掃・詰まり**  
 見積無料 ¥20,000から  
 コスト半分/クオリティは2倍以上!!

●水が流れにくい  
 ●水を流すとゴボゴボ音がする  
 ●排水口から臭いにおいがする

高圧洗浄機でねこそぎ除去!

株式会社 藤沢市興業公社  
 0466 (22) 9141

毎月1回 中庭 八重の木広場ステージにて楽しいイベント開催中!

藤沢駅直結

フジサワ名店ビルでは、様々な貸ホール・ギャラリーを提供しております。教室の開催や展示会、講演などに、どうぞお気軽にご利用くださいませ。

空き状況は下記WEBサイトより確認いただけます。

**フジサワ名店ビル**  
 ☎0120-111-391 営業時間:10時~21時 Y251-0055 藤沢市南藤沢2番1-1号  
 ☎0466-23-0111(代) [www.fujisawa-meiten.com](http://www.fujisawa-meiten.com)

藤沢・茅ヶ崎・寒川「湘南」がエリアのFM放送局

**83.1MHz** ハミオ RADIO SHONAN FM 83.1MHz

**ラジオ湘南**

<http://www.radioshonan.co.jp>  
 STUDIO FAX No.0466-29-2121